**募集要領**

**令和2年度　スポーツ庁事業**

**スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ経営人材育成・活用促進事業（専門人材等、**

**外部人材の流入促進）」に参加するスポーツ団体の募集について**

1. **趣旨**

スポーツの成長産業化における基盤形成の一つの方策として「マッチングを通じたスポーツ団体への外部人材の流入を促進する」ことが求められている中、スポーツ庁では複数年に渡りスポーツ団体における外部人材の流入促進のための課題調査**[[1]](#footnote-1)**や人材マッチングの実践を実施してきました。

令和2年度においても、これらを踏まえ、スポーツ団体における外部の経営人材・専門人材の流入促進に必要な経営課題の定義及びマッチング等の支援を行います**[[2]](#footnote-2)**。当該取組に賛同し、本事業を活用し、外部の経営人材・専門人材の採用を検討しているスポーツ団体を募集します。

1. **募集対象**

国内に拠点を持つ以下のスポーツ団体であって、外部の経営人材・専門人材の活用を希望する団体（10団体程度）を対象とします。

* 中央競技団体（統括団体を含む）
* プロスポーツクラブ
* プロリーグ
1. **審査観点**

本事業では、主に下記の観点から応募を希望する団体の応募動機、事由等を確認し選定を行います。

* 自らの経営課題を解決するために、外部人材が有するスキルを活用することへの有用性を感じ、実行意欲があること
* 外部人材が有するスキルの活用により解決を図りたい経営課題、解決に向けた方向性について考えを有していること
* 外部人材採用後を想定した具体的な役割を団体内で検討・共有していること
* 当該応募に際して、団体の責任者や関係者が本事業を活用した外部人材の登用に対して賛同していること
1. **申請書の作成・提出など**

提出書類

　　申請書（別紙１）または申請書（別紙１）の記入内容に沿った資料の提出をお願いします。

提出方法

「6. 申請書等の提出先並びに問合せ先」に記載のあるメールアドレスに申請書を添付し提出をお願いします。なお、申請書の直接持参、郵送、FAXは不可とさせて頂きます。

1. **提出締め切り日**

　令和2年7月17日(金)　17時まで

応募のメールを受領後、事務局***\**** より応募受領メールをお送りさせていただきます。

万が一、受領確認メールの返信がなかった際は、6. 提出先のメールアドレスまでご連絡ください。

なお、提出期限を過ぎた場合は、原則受付することはできかねます。

***\**** 事務局とは、当該募集における責任者であるスポーツ庁および当事業の委託先である、PwCあらた有限責任監査法人、株式会社ビズリーチを指す。

1. **申請書等の提出先並びに問合せ先**

提出先

以下3メールアドレスを宛先（TO）、CCに入れて提出をお願いします。

メールアドレス：

宛先（TO）：jp\_aarata\_jsa2020hr@pwc.com　（PwCあらた有限責任監査法人）

CC：jsa2020@bizreach.co.jp　（株式会社ビズリーチ）

CC：sminkan@mext.go.jp　（スポーツ庁　参事官（民間スポーツ担当）付　経営改善係）

問合せ先

問合せは電子メールにて受付いたします。連絡先は提出先と同様に、上記3メールアドレスを宛先（TO）、CCに入れてお問い合わせをお願いします。

---

PwCあらた有限責任監査法人

　　担当：田中、大久保、中川、鈴木、拝野

株式会社ビズリーチ

担当 ：葛西、藤田、加藤

スポーツ庁　参事官（民間スポーツ担当）付　経営改善係

担当：山縣

1. **選定方法等**

事務局に提出された申請書に対して「3. 審査観点」で掲げられた内容および申請書の記載内容に基づき選定を実施します。

必要に応じて審査期間中に詳細に関する追加資料の提出やヒアリングを求めることがあります。

1. **選定件数**

概ね10団体程度を予定しています。

1. **選定結果の通知**

選定結果は、応募者宛てに通知します。

1. **スケジュール**

募集開始：令和2年7月6日（月）

提出締切：令和2年7月17日（金）17時まで

ヒアリング：令和2年7月20日（月）～8月7日（金）　までの予定

※必要に応じて、提出頂いた資料に対するヒアリングをさせていただきます

審査：令和2年7月20日（月）～8月14日（金）までの予定

結果通知：令和2年8月21日（金）までの予定

1. **参考情報**

令和元年度事業（2019年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」）の実績を以下に記載します。応募の検討の際にご参考願います。

* 令和元年度事業の実績

参加団体：12団体

募集ポジション：18ポジション（具体的なポジションは以下募集ページ内を参考）

総応募数：2,400名

採用：8団体16*\**名　*\**2020/3/27時点の内定者を含む

* 令和元年度における募集ページ（応募団体や募集ポジションが掲載）

第１回募集ページ

<https://www.bizreach.jp/content/executive/regional_revitalization_22/>

第２回募集ページ

<https://www.bizreach.jp/content/executive/regional_revitalization_28>

* 当事業を取材したメディア、及び参加団体や採用者の声

テレビ東京BSテレ東「羽田土曜会」のYoutubeリンク

<https://www.youtube.com/watch?v=AlseNp-xS-M>

 （スポーツ団体の声）

株式会社VOREAS 4:57～

 （採用者の声）

株式会社VOREAS 6:44～

公益財団法人日本陸上競技連盟 8:08～

（別紙１）

**申請書**

スポーツ庁では、2018年度、2019年度「スポーツ産業の成長促進事業」において「スポーツ団体向け人材採用・定着に係る考慮すべきポイント集」を作成しています。

当該申請書を作成するにあたり、以下ポイント集をご熟読・ご参考の上作成をお願します。

※スポーツ団体向け人材採用・定着に係る考慮すべきポイント集

<https://www.mext.go.jp/sports/content/20200508-spt_sposeisy-300000953_04.pdf>

**【団体の基礎情報】**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請機関・団体名 |  |
| （ふりがな）代表者役職・氏名 |  |
| （ふりがな）担当者役職・氏名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| ミッション・ビジョン | * ミッション（団体の使命、存在意義）
* ビジョン（実現を目指す、将来ありたい姿）
 |

**【団体の現状・抱える課題】**

|  |  |
| --- | --- |
| 応募の背景・動機 |  |
| 団体が抱える経営上の課題 | ※できる限り具体的に記載※複数記載可能 |
| 上記課題の原因 | ※できる限り具体的に記載 |

**【解決に向けた方向性】**

|  |  |
| --- | --- |
| 外部人材を活用し解決を図りたい経営課題の領域と優先度 | ※できる限り具体的に記載* 1. （領域）

　理由：* 1. （領域）

　理由：* 1. （領域）

　理由など |
| どのような外部人材がいれば解決可能性が高いと考えているか | ※できる限り具体的に記載 |
| 外部人材を活用する際に想定される体制図案 | ※必要に応じて別紙にて資料提出願います。 |

1. 当庁の調査等により、スポーツ団体における外部人材の流入促進を図るに当たっては、スポーツ団体側の人的・財政的リソース及び経験が不足していることなどにより、外部人材の採用にリソースが割けないほか、経営課題の明確化又は必要な人材の定義・見極めができないといった課題が明らかとなっている。
なお、上記における調査結果に関する内容は、当庁ホームページの以下に掲載。
<https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1415420.htm>

	* 2019年度「スポーツ産業の成長促進事業 （外部人材の流入促進）」→成果報告書

→スポーツ団体向け人材採用・定着に係る考慮すべきポイント集

	* 2018年度「スポーツ産業の成長促進事業 （専門人材の参入促進に向けた検討）」→成果報告書 [↑](#footnote-ref-1)
2. 令和2年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ経営人材育成・活用促進事業（専門人材等、外部人材の流入促進）」は、PwCあらた有限責任監査法人への委託事業としている。 [↑](#footnote-ref-2)